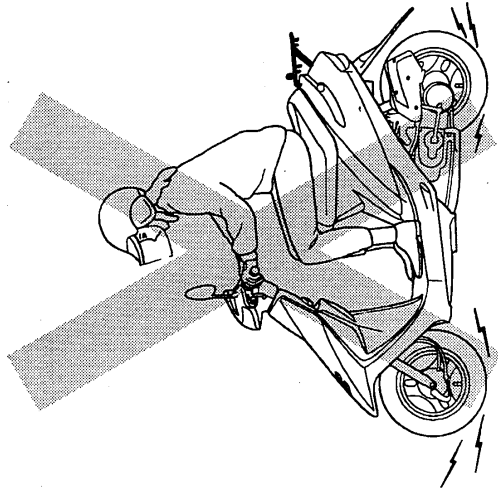


急ブレーキ、急ハンドルはやめましょう。



- 急ブレーキ、急ハンドルは、スリップや転倒の原因になり危険です。
- とくに雨の日や路面がぬれている場合は、急ブレーキをかけるとタイヤがスリップし、横すべりや転倒をおこしやすくなり危険です。

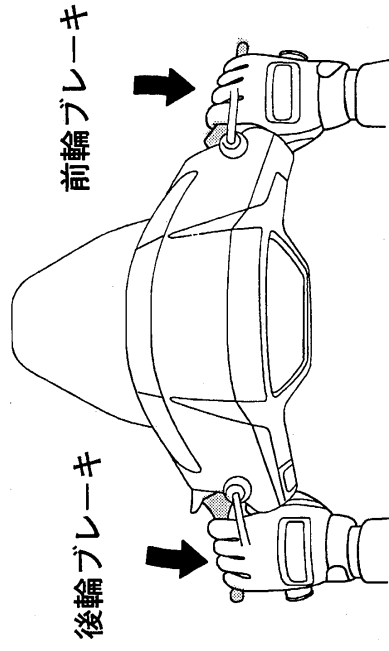
雨の日は、とくに慎重に走りましょう。

- 雨の日や路面がぬれているところでは、晴天時よりブレーキ停止距離が長くなります。速度を落として走り、早めにブレーキをかけるなど余裕をもって操作しましょう。
  - 下り坂では、スロットルグリップを戻して速度に応じてブレーキをかけながらゆっくり走りましょう。
  - 水たまりを走行した後や雨天走行時には、ブレーキの効き具合が悪くなる場合があります。
- 水たまりを走行した後などは、安全な場所  
で周囲の交通事情に十分注意し、低速で走  
行しながらブレーキを軽く作動させて、ブ  
レーキの効き具合を確認してください。も  
し、ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキ  
を軽く作動させながらしばらく低速で走行  
して、ブレーキのしめりを乾かしてください。  
い。
- 雪道や凍った道はすべりやすいので気をつ  
けて、スノータイヤを装着し、ゆっくり走り  
ましょう。

## 止まりかた

□止まる地点が近づいたら、

- 早めに方向指示器スイッチで合図を出し、後方や側方の車に注意し、徐々に左に寄りましょう。



- スロットルグリップを戻して、早めに前・後輪のブレーキをかけましょう。  
制動灯(ストップランプ)が点灯し、後車への合図になります。